



週間情報



No.0142

発行日 令和元年11月12日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

消防本部の動き

行事

◆ いちはら火災予防フェアを開催

市原市消防局（千葉）

市原市消防局では、令和元年度秋季全国火災予防運動の実施（令和元年11月9日（土）から11月15日（金）まで）にあわせ、令和元年10月27日（日）、市内の大型商業施設において、いちはら火災予防フェアを開催し、火災の発生及び火災による死傷者の低減並びに予防救急思想の普及を目的に、予防広報活動を実施しました。

当日は、約1000人の来場者に火災予防等の重要性の呼びかけを実施しました。また、市原市において台風第15号及び第19号により被災された市民のための義援金を受け付け、多くのご協力をいただくことが出来ました。



【火災予防フェアの様子】



【消太くんとのお記念撮影の様子】

◆ ラグビーワールドカップ2019™消防特別警備を実施

横浜市消防局（神奈川）

横浜市消防局では、ラグビーワールドカップ2019™の開催に伴い、横浜国際総合競技場において決勝・準決勝を含む7試合が実施（1試合は台風第19号により中止）されることから、令和元年9月19日（木）から11月3日（日）までの期間、消防特別警備を実施しました。

当局では、試合日において、海外からの国賓及び多数の政府高官並びに多くの観光客が来浜されることが予想され、救急需要の増大やテロ等による大規模災害の発生が懸念されることから、ラグビーワールドカップ2019™組織委員会をはじめとした関係機関との緊密な連携を図り、万全の警戒態勢で臨みました。

消防機関として求められている役割を十分に果たすことで、大きな災害等を発生させることなく、日本中が歓喜に沸いた大会に貢献することができました。来年に控える東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、貴重な経験として役立てていきたいと考えています。



【横浜国際総合競技場】



【消防隊等の待機状況】

訓練・演習

◆ 解体中の公共施設を利用した震災対応訓練を実施

三郷市消防本部（埼玉）

三郷市消防本部では、令和元年10月26日（土）及び10月27日（日）の2日間、解体中の公共施設（4階建て鉄筋コンクリート造）において震災対応訓練を実施しました。

近年、地震だけでなく台風や竜巻などで想像を超える災害が頻発しており、そうした大災害において、当消防本部が保有する消防力を最大限に活用するため、倒壊建物からの救出訓練・ブリーチング訓練・消火活動訓練なども実施しました。訓練では、瓦礫が散乱し鉄筋がむき出しの環境下では様々な危険要因があり、災害現場対応能力の向上につなげることができました。

今後も、いつ発生するか分からない自然災害に対応するため訓練を計画し災害対応能力向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 管内警察署と合同で多数傷病者対応訓練を実施

西春日井広域事務組合消防本部（愛知）

西春日井広域事務組合消防本部では、令和元年10月28日（月）、北名古屋市文化勤労会館において、管轄警察署と合同の多数傷病者対応訓練を行いました。

訓練は、指揮隊、救助隊及び救急隊が63名、西枇杷島警察署から5名が参加し、公演中に何者かが刃物を振り回して無差別に切りつける殺傷事件が発生、傷病者が多数発生したとの想定で行われ、警察官による犯人確保、救助隊及び救急隊による傷病者のトリアージ、応急救護所の運用等、災害対応における一連の流れの確立と他機関との連携を重点課題として行いました。

他機関との連携訓練を通して、それぞれの役割の再認識と確認ができ、さらに顔の見える関係が構築できました。

今後も、多数傷病者対応能力の向上を図り、実災害があった場合は、迅速かつ安全に傷病者の救護にあたり、地域住民の安心安全に努めていきます。



【訓練の様子】

◆ 足助消防署救助訓練施設で訓練指導を実施

豊田市消防本部（愛知）

豊田市消防本部足助消防署では、令和元年10月28日（月）、足助消防署救助訓練施設において、愛知県消防学校救助科で学ぶ県下33消防本部40名の学生に対して救助方法の指導を実施しました。

この救助訓練施設は平成30年3月に竣工され、敷地内の法面を活用し、中山間地域特有の災害現場を想定した救助訓練を行うことができる施設です。

指導は昨年度に続き2回目となり、壁面を利用した低所救助や横坑・立坑救助の指導を実施しました。当訓練施設は、救助科学生に対する指導だけではなく、他市消防本部や他機関からの訓練依頼も受け入れ、合同訓練を行っています。

今後も、当訓練施設を積極的に活用し、関係機関との連携強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ フライトドクター合同シミュレーション訓練を実施

可茂消防事務組合消防本部（岐阜）

可茂消防事務組合消防本部では、令和元年10月30日（水）、岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センター、ドクターヘリ・ドクターカー部門長、臨床講師の山田法顕医師をお招きし、通信指令員、救急隊員を交えた合同訓練を実施しました。

関係機関との連携を深めることを目的とした今回の訓練は、ドクターヘリの要請やドッキング方法等について苦慮した事案に基づき、航空写真を利用した、ドクターヘリランデブーポイントを選定するシミュレーション訓練としました。

当消防本部において、フライトドクターとの訓練は初めてで、地上からは見えてこない俯瞰的なシミュレーション訓練では、同じ事案でも隊によって選定するランデブーポイントが異なるなど、現場活動時の問題点等を検討することができました。

今後も、現場活動が円滑に行えるよう継続して訓練を実施し、関係機関との連携を図っていきます。



【訓練の様子】

◆ 消防・警察・NEXCO西日本合同による高速自動車道総合防災訓練を実施

岡山市消防局（岡山）

岡山市消防局では、令和元年10月31日（木）、当市消防局教育訓練センターにおいて、岡山県南高速道路沿線7消防本部、警察及びNEXCO西日本と合同で高速自動車道総合防災訓練を実施しました。

本訓練は、高速道路上で発生したガソリン積載のタンクローリー車を含む多重衝突事故を想定し、関係機関と情報共有及び活動調整を図りながら、交通規制をはじめ、救急・救助、消火等の一連の活動を実施しました。これにより、関係機関相互の活動内容について再確認することができました。

今後も、継続的に関係機関と訓練を実施し、高速道路上における災害への対応力を強化してまいります。



【訓練の様子】

研修等

◆ 令和元年度第1回備中地区救急隊員研修会を実施

倉敷市消防局（岡山）

倉敷市消防局では、令和元年10月25日（金）、高梁川流域連携中枢都市圏事業の一環として、備中地区6消防本部の救急隊員と指令係員約80名を対象に、「通信指令事例検討会」を行いました。

119番通報を受けたとき、どのように状況を把握し、それをどのように救急隊に伝えれば、より質の高い救急活動ができるかを、実際にあった事案をもとに参加者がグループに分かれ問題点を検討し、検討結果を代表者が発表しました。

また、川崎医科大学附属病院高度救命センター長の荻野医師と倉敷中央病院救急科主任部長の池上医師を招き、医学的見地からのアドバイスを受け、活発な意見交換がなされ、有意義な研修会となりました。

今後も、研修会を通じてだれもが安心して利用できる救急環境を整備していきます。



【研修会の様子】

◆ 令和元年度違反是正実務研修シミュレーション実習を開催

北部消防連絡協議会（沖縄）

沖縄県北部地域を管轄とする4消防本部（名護市消防本部、本部町今帰仁村消防組合消防本部、国頭地区行政事務組合消防本部、金武地区消防衛生組合消防本部）による協議会では、令和元年10月28日（月）、管轄内において民泊施設や大型宿泊施設が増加していること等を踏まえ、火災予防上必要な行政指導や違反是正指導の実務的な理解を深めることを目的に違反是正実務研修を開催し、14名の予防未経験職員が受講しました。

予防課職員が関係者役に扮し、実戦形式で行われたシミュレーション実習では、これまでの研修で学んだ知識を生かし、関係者役に対する趣旨説明から始まり、聞き取りや対象物の状況から現状把握し、丁寧な是正の説明、通知までを行いました。

併せて予防技術検定と同等の筆記試験を行い、4回目を迎えた当研修は益々充実した内容となりました。



【違反是正実務研修開始式の様子】



【シミュレーション実習立入検査の様子】

◆ 多数傷病者対応他組織合同研修会を実施

たかさき消防共同指令センター（群馬）

たかさき消防共同指令センターでは、令和元年10月29日（火）、高崎市等広域消防局において、共同指令業務への理解と局地災害発災時の連携強化を目的に「多数傷病者対応他組織合同研修会」を開催しました。

この研修会には、群馬県内で指令業務を共同運用する6消防本部（高崎市等広域、利根沼田広域、渋川広域、多野藤岡広域、富岡甘楽広域、吾妻広域）のほか、群馬県警察本部、群馬県防災航空センター、前橋赤十字病院の代表者が出席しました。前橋赤十字病院高度救命救急センター長の中村光伸医師による講演のほか、組織同士の相互理解を深めるため意見交換会を実施し、消防相互応援協定や災害モードを立ち上げる際の「いち早いスイッチ」を入れることなどを再認識するとともに、指令業務を共同運用している指令センターがハブとなって、組織同士が「ONE TEAM」で災害活動をしていくことを誓い合いました。

今後も更に強固な連携が図れるよう、各種研修会等を実施してまいります。



【講演の様子】



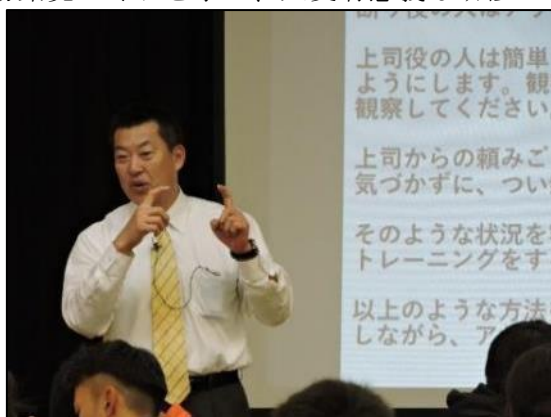
【意見交換会の様子】

◆ 消防職員の労務管理研修を実施

筑西広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

筑西広域市町村圏事務組合消防本部では、令和元年10月29日（火）、安全衛生と不祥事防止の取り組みとして、一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会からの支援を受け、職員研修を開催しました。

一般社団法人日本防災教育訓練センターの代表理事サニーカミヤ氏を講師として招き「消防職員の労務管理～メンタル&ストレスコントロール～」と題し、ワークショップ形式の研修を実施しました。本研修ではアサーショントレーニングやハラスメント対策のグループ討議を実施しながら、ストレスをためない対人コミュニケーションスキルの技術やハラスメントを絶対に出さない職場環境づくりを学び、大変有意義な研修となりました。



【研修会の様子】



【アサーショントレーニング】

◆ 令和元年度消防活動基礎研修を実施

笠岡地区消防組合消防本部（岡山）

笠岡地区消防組合消防本部では、令和元年10月29日（火）及び10月30日（水）の2日間、消防職員の基礎育成期間として確実に基礎スキルを習得し、若手職員の意欲と能力を高め、人材育成の一層の充実・強化を図ることを目的として、採用から7年目までの職員を対象とした消防活動基礎研修を実施しました。

この研修は、始まりの合図の後に防火衣、呼吸器を着装、装着状態のままロープ結索やホース延長などの消防の基礎となる活動を実施し、その行動・動作の安全性、正確性及び迅速性並びに士気・規律について審査員が評価を行います。

参加した職員からは、「今後の消防活動に生かしていきたい。」との声が聞かれ、当研修を通して、若手職員の消防活動に対する意欲が高まっていることを実感できました。

当消防本部では、住民が安心して暮らせるまちづくりを目指して、今後も、様々な研修に取り組んでまいります。



【ロープ結索の様子】



【ホース延長の様子】

◆ 公務災害防止セミナーを実施

直方市消防本部（福岡）

直方市消防本部では、令和元年10月31日（木）、安全衛生の取り組みとして一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会の事業を活用し公務災害防止セミナー「消防職員の健康管理について」を開催しました。

講師に、なかじまちあきクリニック院長の中嶋千晶先生を招いて、消防職員が発症しやすい動脈硬化性疾患や腰痛の予防方法、睡眠不足の影響などについて講演いただき、職員にとって大変有意義な研修会となりました。

消防職員の健康管理には、運動に合わせた正しい栄養管理と睡眠（眠りのリズム、時間）などが大切とのことで、当消防本部ではバランスのとれた正しい食事や睡眠の方法を考え、健康で安全な職場を目指してまいります。



【研修会の様子】

そ の 他

◆ 防火図画表彰式を開催

京丹後市消防本部（京都）

京丹後市消防本部では、「防火図画」審査会で特選に輝いた児童に対し、令和元年10月29日（火）、小学校を訪問して表彰式を行いました。

この取り組みは、当消防本部が平成7年から秋季全国火災予防運動の実施にあわせ、市内の小学校4年生を対象に作品を募集しているもので、24回目となる今回は、16の小学校から316点の作品が寄せられました。

特選に選ばれた作品は、火災予防運動用のポスターとして印刷し、市内の公共施設や事業所に掲示し、火災予防の呼びかけに役立てられます。



【表彰式の様子】



【防火図画（特選）の様子】

◆ 移動タンク貯蔵所等の合同立入検査を実施

奈良県広域消防組合消防本部（奈良）

奈良県広域消防組合消防本部では、令和元年11月1日（金）、奈良国道工事事務所遅瀬計量所において、消防本部特別査察隊と3消防署が、管轄の警察署と合同で移動タンク貯蔵所等に対する立入検査を実施しました。

立入検査では移動タンク貯蔵所の定期点検の実施状況や設備の維持管理状況について検査を行い、危険物取扱者の保安意識を高め安全を確保するとともに、事故の際の被害拡大防止に資するためイエローカードの携行を働きかけ、車両の運行についても一層の安全管理の徹底を図るよう指導しました。



【合同査察の様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 令和元年台風第19号及び前線による大雨に係る救助活動等に従事した消防職団員の惨事ストレス対策等について

（事務連絡、令和元年11月1日）

消防庁消防・救急課、消防庁国民保護・防災部地域防災室から各都道府県消防防災主管部、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

令和元年台風第19号及び前線による大雨への対応として、各地の消防隊等をはじめ、各都道府県から参集した緊急消防援助隊など、多数の消防職団員による連日の懸命な災害現場活動が行われているところです。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/191101_syoukyu_jimu.pdf) に掲載されています。

【消防職員】

消防庁消防・救急課

職員第一係 田村・佐井

電話：03-5253-7522 F A X：03-5253-7532

E-Mail：shokuin@soumu.go.jp

【消防団員】

消防庁国民保護・防災部地域防災室

消防団係 伊藤・水谷

電話：03-5253-7561 F A X：03-5253-7576

E-Mail：syobodan@ml.soumu.go.jp

報道発表

◆ 令和元年秋の褒章（消防関係）

（令和元年11月2日、消防庁）

令和元年秋の褒章（消防関係）

受章者は109名で、褒章別内訳は次のとおりです。

紅綬褒章 5名

黄綬褒章 9名

藍綬褒章 95名

計 109名

（受章者名等は、別添の受章者名簿に記載されています。）（別添省略）

発令年月日 令和元年11月3日（日）

受章者のうち、

① 紅綬褒章は、災害現場等において、自己の危険を顧みず人命救助に尽力した者

② 黄綬褒章は、永年にわたり消防機器の研究開発及び製造販売業務や消防設備保守業務等に精励するとともに、業界の発展に大きく寄与した者

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/5b0390cbea1be14962c300b584daf4c65a401d5c.pdf>) に掲載されています。

連絡先

消防庁総務課

原田係長・樋口事務官

Tel 03(5253)7521 内線 42173

Fax 03(5253)7531

◆ 令和元年秋の叙勲（消防関係）

（令和元年11月3日、消防庁）

令和元年秋の叙勲（消防関係）受章者は603名で、勲章別内訳は次のとおりです。

瑞宝中綬章 1名

旭日小綬章 1名

瑞宝小綬章 27名

旭日双光章 2名

瑞宝双光章 68名

瑞宝単光章 504名

計 603名

（受章者名等は、別添の受章者名簿に記載されています。）（別添省略）

発令年月日 令和元年11月3日（日）

受章者は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与された方々です。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/191103_soumu_1.pdf) に掲載されています。

連絡先

消防庁総務課

原田係長・樋口事務官

Tel 03(5253)7521 内線 42173

Fax 03(5253)7531

◆ 2019年（5月から9月）の熱中症による救急搬送状況

（令和元年11月6日、消防庁）

熱中症による救急搬送人員について、2019年5月から9月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

概 要

- 2019年5月から9月の全国における熱中症による救急搬送人員の累計は71,317人でした。これは、昨年同期間の救急搬送人員95,137人と比べると23,820人少なくなっています。
- 全国の熱中症による救急搬送状況の年齢区分別、初診時における傷病程度別等の内訳は次のとおりです。
 - 救急搬送人員の年齢区分別では、高齢者が最も多く、次いで成人、少年、乳幼児の順となっています。
 - 搬送された医療機関での初診時における傷病程度別にみると、軽症が最も多く、次いで中等症、重症の順となっています。
 - 発生場所別の救急搬送人員をみると、住居が最も多く、次いで道路、公衆（屋外）、仕事場①の順となっています。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ
(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/20190509aaa.pdf>) に掲載されています。

（連絡先）
消防庁救急企画室
担当：三島、増田、新井
電話：03-5253-7529
F A X：03-5253-7532

◆ 「第24回全国女性消防操法大会」の開催

（令和元年11月6日、消防庁）

女性消防団員等の女性消防隊員の消防技術向上と士気の高揚を図り、もって地域における消防活動の充実に寄与することを目的として、日頃の訓練により培った消防操法技術を競い合う全国女性消防操法大会を横浜市で開催します。

全国女性消防操法大会は、昭和60年に第1回大会を開催し、平成9年以降は2年ごとに開催しており、今大会で24回目となります。

- 1 開催日時及び場所
 - 日時：令和元年11月13日（水） 雨天決行
9時00分～15時40分（予定）
 - 場所：横浜赤レンガ倉庫イベント広場
（神奈川県横浜市中区新港一丁目1番）

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ
(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/191113_24_jyoseisouhou_.pdf) に掲載されています。

【問合せ】
消防庁国民保護・防災部地域防災室消防団係
（葛城消防団専門官、伊藤係長、安藤事務官）
TEL：03-5253-7561 FAX：03-5253-7576
E-mail：syobodan@ml.soumu.go.jp

情報提供

◆ 消火器・誘導標識点検アプリKIKATTO～キカット～をリリース

仙台市消防局（宮城）

仙台市消防局と東北福祉大学の協定を活用し開発した「消火器・誘導標識点検アプリKIKATTO～キカット～」を令和元年11月1日から運用開始しました。

本アプリは、消火器と誘導標識の法定点検と消防用設備等点検結果報告書の作成を支援します。

主に東北福祉大学生が中心となり、ユニバーサルデザインを取り入れた「誰でも使いやすい消火器・誘導標識の点検アプリ」としました。

このアプリを多くの方に活用してもらうことで、消防用設備点検の促進を図り、市民生活の安心・安全の向上を図ります。

URL <http://tfu-sendaisyoubou.jp/index.html>

注意点

- ・点検できる消火器と誘導標識には条件があります
- ・消防用設備等点検結果報告書の支援ができる建物には条件があります
- ・個人情報を入力できません
- ・本アプリの使用は無料ですが、別途通信料がかかります



◆ キッズ消防隊が絵本となって防火・防災をPR～消防と民間企業が連携して絵本を製作～

横浜市消防局（神奈川）

横浜市消防局では、令和元年11月9日（土）、「子どもたち」への防火・防災啓発活動の一環として、平成29年度に子ども向けキャラクター「キッズ消防隊」を考案し、それをモチーフとした音楽とダンス動画や読み聞かせストーリー（現役消防職員による書下ろし）を作成しました。

この度、取り組みの趣旨に御賛同いただいた株式会社野毛印刷社と協力して、キッズ消防隊の絵本を製作し、全国発売となりました。

製作にあたっては、株式会社野毛印刷社のノウハウを活用するとともに、当局が企画・監修することで、住宅火災の主な原因や注意点、共助の大切さ等を盛り込んでいます。

また、子育て中の女性消防団員に協力をいただき、保護者目線のアドバイスを得て、子どもから大人まで楽しく読める内容となっています。

皆様の消防本部でも活用いただき、火災予防や地域のつながりの大切さ等を話し合う、きっかけにしたいと考えています。



機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍・推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報No.0117又は機関誌「ほのお」2019年4号（4／25発刊）を参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 石井

原稿データは、kikachosei@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

・文章は、Wordで150文字程度（160文字以内）で作成をお願いします。

・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：情報管理課 渋谷

原稿データは、joho-sys@fcj.gr.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

TEL：03-3234-1321 / E-mail：weekly@fcj.gr.jp

記事の投稿に関する注意点

・配信日（原則火曜日）から2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。

・文章は、Wordで200字～400字程度で作成をお願いします。

・写真は、1枚～2枚をWordに貼り付けて送付してください。

（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）

・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 清田